

重点評価

■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.4)

1 総合評価の結果

建物名称	株式会社パイロットコーポレーション(仮称)新開発棟(開発A棟)プロジェクト			
BEE(建築物の環境効率)	1.4	BEEランク	B+	★★★★☆

2 重点項目への取り組み度

重点項目	評価	劣る → よい				
		100%超	80%超	60%超	30%超	30%以下
地球温暖化への配慮 (ライフサイクルCO ₂)	LCCO ₂ 排出率 70%	100%超 ~100%以下	80%超 ~80%以下	60%超 ~60%以下	30%超 ~30%以下	30%以下 ~0%以下
ヒートアイランド現象の緩和	スコア 2.5	×1	×2	×3	×4	×5

3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア (5点満点 平均スコア=3点)

評価のポイント	レベル	地球温暖化への配慮
標準計算によるLCCO ₂ (ライフサイクルCO ₂)排出率を評価	4.2	LR3/1 地球温暖化への配慮
構造躯体用部材の生産・加工段階における廃棄物削減の取り組みを評価	3	LR2/2.1 材料使用量の削減
	3	LR2/2.2 既存建築躯体等の継続使用
	3	LR2/2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用
既存の建築躯体の継続利用有無および範囲による評価	3	Q1/2.1.2 外皮性能
	5	LR1/1 建物の熱負荷抑制
	3	LR1/2 自然エネルギー利用
自然エネルギーの直接利用(採光利用、通風利用、地熱利用など)、変換利用(太陽光、太陽熱など)の導入の有無、導入の割合を評価	2.9	LR1/3 設備システムの高効率化
	3	LR1/4 効率的運用
構造躯体などに使用する材料の交換等大規模な改修工事を必要とするまでの期間を伸張させるための対策の程度を評価	3	Q2/2.2.1 躯体材料の耐用年数

評価のポイント	レベル	ヒートアイランド現象の緩和
熱的な悪影響を低減する対策(敷地内へ風を導く、緑地や水面を確保する、建築設備による排気や排熱の位置等に配慮するなどにより暑熱環境を緩和する対策)を評価	2	Q3/3.2 敷地内温熱環境の向上
温熱環境の事前調査、敷地外への熱的な影響を低減する対策、温熱環境悪化改善の効果の確認に関する取り組み度合いを評価	3	LR3/2.2 温熱環境悪化の改善

評価のポイント	レベル	関連項目
節水への取り組み度合いを評価	4	LR2/1.1 節水
生物環境の保全と創出に関する配慮(立地特性の把握と計画方針の設定、生物資源の保全、緑の量・質の確保、生物環境の管理と利用など)を評価	3	Q3/1 生物環境の保全と創出

主な指標および効果		再生可能エネルギーの導入状況			
LCCO ₂ の削減率 (=1-LCCO ₂ 排出率)	30 %	種類	有無	種類	有無
設計上の配慮事項(自由記述)		太陽光	○	バイオマス	-
・給水管: VLP(B)、汚水排水: VP(B)、雑排水: VP(B)、C以上を使用 ・壁長さ比率0.1以上、0.3未満 ・開口部遮音性能:T-2以上		定格出力 (80kW)	80.6	温度差熱	-
				水力	-
				太陽熱	-
				地熱	-
				風力	-

:入力欄

:CASBEE-建築(新築)の採点結果から転記してください。